

佐潟水鳥・湿地センターの事業(2020年4月~12月)

<p>公式ツイッター(随時) (@satokata_sakata)</p> 	<p>佐潟自然散歩(月2回) 4~6月中止、7~10月実施</p> 	<p>小鳥さえずる佐潟で春散歩 中止</p> 	<p>佐潟探検隊(年4回) 中止</p> 
<p>初夏の植物観察会 中止</p> 	<p>水辺の生きもの観察教室 中止</p> 	<p>夏の佐潟昆虫観察会 中止</p> 	<p>秋の昆虫観察会 9月5日実施(10人参加)</p> 
<p>佐潟写真展 10月1~18日に17人の30点展示</p> 	<p>佐潟探鳥散歩(月2回) 11月~来年2月実施予定</p> 	<p>押し花で窓辺の飾りを作ろう 11月7日実施(6人参加)</p> 	<p>冬鳥ウオッチング 12月5日実施(16人参加)</p> 

<p>佐潟水鳥・湿地センター</p>		<p>開館時間 9:00~16:30 (11月~翌2月の土日は7:00開館)</p>
		<p>休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は開館し、翌日休館) 年末年始(12月29日~1月3日)</p>
<p>編集</p>	<p>佐潟水鳥・湿地センター 〒950-2261 新潟市西区赤塚 5404 番地 1 電話 025-264-3050 / FAX 025-264-3051 E-mail: sakata.wlc@alpha.ocn.ne.jp</p>	
<p>発行</p>	<p>新潟市西区地域課文化・スポーツ担当 〒950-2097 新潟市西区寺尾東 3 丁目 14 番 41 号 電話 025-264-7193 / FAX 025-269-1650 E-mail: chiiki.w@city.niigata.lg.jp</p>	



佐潟通信

2020年12月
71号

佐潟(さかた)は1996年3月に登録されたラムサール条約湿地です

冬の佐潟で、野鳥観察をしませんか

毎年秋に冬鳥が飛来すると、佐潟(さかた)の上潟(うわかた)と下潟(したかた)は、にぎやかにになります。今年度は10月7日に下潟でコハクチョウ(22羽)を初確認しました。

12月4日の佐潟鳥獣保護区(佐潟と御手洗潟(みたらせがた))での渡り鳥飛来数調査では、コハクチョウ(5,201羽)とオオハクチョウ(86羽)の合計が、昨年度最多飛来数(5,217羽)を超える5,287羽でした。マガモは11,448羽、コガモは7,300羽、オナガガモは2,633羽でした。

佐潟では、ハクチョウたちが落穂などを食べに水田へ朝早く飛び立つと、夕方まで、ほかの水鳥が潟一面に広がるため、カモ類などを見やすくなります。すっかり冬になり、木々が葉を落とした佐潟公園の潟沿いの道や芝生広場では、小鳥を見つけやすくなりました。

冬は野鳥観察の絶好の季節です。休日は早朝の佐潟で、野鳥を観察しませんか!

(以下の空撮写真は、2020年11月下旬に八島正則さん撮影)



奥に角田山と日本海、奥から手前に上潟、下潟



角田山に近い上潟(白点はハクチョウ)



奥から手前に日本海、下潟の西側(白点はハクチョウ)



奥から手前に日本海、御手洗潟、下潟の東側

佐潟で見られる 主な野鳥 (12月~3月)



コハクチョウ



オオハクチョウ



ヒドリガモ



マガモ



ハシビロガモ



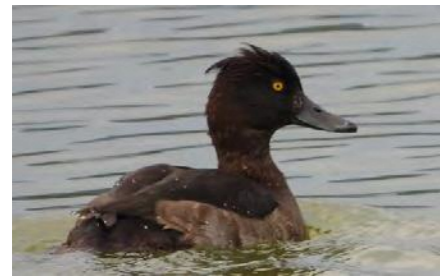
オナガガモ



コガモ



ホシハジロ



キンクロハジロ



ミコアイサ



カイツブリ



カンムリカイツブリ



ハジロカイツブリ



カワウ



アオサギ



ダイサギ



オオバン

第2・4土曜早朝は 佐潟探鳥散歩！

佐潟水鳥・湿地センターでは、2月までの第2・4土曜日午前7時30分から9時まで、佐潟ボランティア解説員による佐潟探鳥散歩を開催しています。申込不要。参加費無料。希望者には無料で双眼鏡をお貸しします。

同センターは2月までの土曜・日曜は朝7時開館です。



佐潟探鳥散歩(11月~2月)



オオタカ



カワセミ



コゲラ



アカゲラ



モズ



シジュウカラ



ヒヨドリ



ウグイス



エナガ



ツグミ



セグロセキレイ



ベニマシコ



ホオジロ



カシラダカ



オオジュリン